

施工におけるBIM/CIM活用(施工方法)

- 活用内容: 架設条件が厳しい桁架設において、周囲の構造物との干渉を確認するため、地形、架空線、ブロックや機材の配置等の条件をBIM/CIMモデル化し、架設シミュレーションを実施する。
- 活用事例: 平成30年度 名二環新政成1高架橋東鋼上部工事
- 架設シミュレーションを現場代理人と共有するとともに、一部の架設ステップにおいてクレーンのアウトリガーと排水溝が干渉することを事前に確認し、配置計画の見直しを行うことで、施工時のトラブルを回避できた。

隣道の俯角75° 影響範囲

